

出席：木田 佳子（委員長）、横堀 将司（担当理事）、伊藤 香、小澤 昌子、長谷 敦子、
並木 淳、並木 みずほ、番匠谷 友紀、守谷 俊、山口 順子
欠席：阿南 英明、七戸 康夫、萩原 佑亮

1. 第49回日本救急医学会総会・学術総会 委員会企画について

1) 指定演者について（人数、診療科について）

- ・現時点で依頼可能かもしれないと連絡いただいているものについて下記の通り報告された。
外科学会：伊藤香先生から連絡可能
小児科、麻酔科、整形外科：並木淳先生から連絡可能
脳神経外科：前委員長 畝本先生から連絡可能（確認未）
- ・依頼する診療科について検討され、救急にかかわりのある科として、外科、小児科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、循環器内科、総合診療科、放射線科、産婦人科の名前があがった。
外科系と内科系のバランスをとり、依頼する診療科は3つとし、組み合わせ案を委員長のほうで作成しメールで審議することになった。
- ・今回の主題は、ダブルボード取得するための問題解決ではなく、救急をやっていく上でどのように他科と連携をとっていくのかである。
- ・問題提起をした後に共感だけで終わってしまわないように、解決案も発表いただけるよう依頼の仕方を工夫する。依頼の内容については、診療科が決まったら、メールで相談する。
- ・一生のキャリア形成として、最短でダブルボードを取る必要があるのか疑問に思うところがある。
- ・演者の目安は専門医以上、指導医未満とする。まとめるのは難しいが、問題をかかえている当事者から忌憚ない意見を述べてもらう。
- ・うまくまとめるために、総会前に深めの打ち合わせをしておき、問題提起の内容を理解しておくのはいかがでしょうか。
- ・本会の演者についても、委員会の委員ではなく、専門医以上、指導医未満の方から発表していただく。演者案について各委員から推薦をお願いしたい。
- ・座長については、守谷 俊先生と伊藤 香先生にお願いすることになった。

2) ラウンジについて、代替案など

- ・本年度も総会中のラウンジ開催はせず、別日に開催する ZOOM 講演会に置き換える。

2. ZOOM 講演会について

- ・内容について検討され、若手が聞きたい内容（「救急 IVR の基礎知識」、「敗血症 up to date」など）で教育講演的なものとし、その後ディスカッションするという案が紹介されたが、座談会をするのであれば、講演会のテーマもそれにあつたもの（「キャリアパス」等）にしてお

いたほうがよいのではとの意見があった。ただし、「男女共同」「キャリアパス」の内容では人が集まらないのではないかと懸念がある。

- ・夏ぐらいに開催したいので、今月中に委員会内および女性評議員にメールでお伺いする。

3. 報告：第1回 女性評議委員との Web meeting について

- ・今後も継続して開催したい

4. その他

- ・横堀担当理事より、委員会規則に「両性で構成」という文言を追加することについて、理事会（5月18日開催）で検討されたことが報告された。

会則改正委員会にて、女性理事枠について検討されており、ジェンダーを語りたくない会員もいることが考えられること等から定款に記載されるのではなく、内規で規定するという形になりそうなので、委員会規則についてもそれに倣うことになると思われることが説明された。